



## 広い社会を知ろう プノンペン国際空港・学校見学



たくさん子どもたちが暮らす水上村

朝晩は少し肌寒かったカンボジアも、じわりじわりと普段の暑さを取り戻してきました。

園の子どもたちは様々な家庭環境があり、園で生活をしています。以前水上村に暮らす子どもたちの入園依頼があり、調査に行くと、子どもたちは孤児ではなく家族がいました。しかし、そこに暮らす子どもたちは勉強出来る環境がありません。水上村にあるのは先生が2人しかいない小学校が一つだけ、ほとんど授業がなく、卒業しても働くという選択肢しかないということでした。

勉強がしたくても出来ない子どもたちがたくさんいるという状況を知り、いたたまれない気持ちになりました。

母国を自分たちの力で支える為には、教育が必要です。勉強が出来る環境にいる園の子どもたちには現状に感謝し、日々しっかりと学び、カンボジアの未来を担ってほしいと思いました。

さて、今回のDREAM通信では、カンボジア視察ツアーの様子、空港と学校見学の様子をお伝え致します。

### カンボジア視察ツアー

今回は里親様2名を含む、21名のお客様が来園されました。当日が節分ということで、交流として豆まきのイベントを用意して下さいました。豆まきが初めての子どもたちに、豆まきの意味や、やり方を説明していただき、鬼に扮したお客様に全力で豆を投げ、やっつけました。勢いが良すぎて、怪我にならないかひやひやする場面もありましたが、お客様のご協力の元子どもたちは楽しい時間を過ごすことが出来ました。

前回のツアーでは七夕の柵を書いたり、日本の文化に触れる機会が多いということは、園の子どもたちの特権と思います。

園の願いはツアーを通し、社内のたくさんの方にSAJの活動を知っていただくこと、そして園の子どもたちと触れ合うことでより身近に感じていただくことです。

子どもたちには恒例で会いに来て下さるお客様がいることに感謝し、この機会を励みに日々頑張りたいと思います。



お客様から鬼退治のアイテムを受け取る



全力の「鬼は外、福は内」

## 社会科見学 プノンペン空港



初めて見る航空券、手続きの説明

子どもたちにもっと広い社会を知ってほしいという思いを込めて、高校2年生と3年生を対象に社会科見学としてプノンペン空港へ見学に行きました。

カンボジア人はパスポートがなければ空港内に入ることが出来ませんが、今回はたくさん方の協力を経て、特別に見学を承諾していただきました。

注意事項をしっかりと聞き、出国手続、手荷物検査、免税店、出発ロビーと搭乗までの流れを案内して下さり、また空港消防施設やお客様の預かり荷物の仕分けるレーン等、職員でなければ入ることが出来ない場所にも案内していただきました。

遠い空を飛ぶ姿しか知らなかった子どもたちにとって、空港で見るもの全てが新鮮で、空港の様々な場所や働く人の姿を目に焼き付けることが出来ました。

子どもたちが飛行機を見る姿を見て、先生や医者等の身近な職業しか知らない子どもたちに、園としてはこういう機会をたくさん作る必要があると思いました。

空港見学の感想文には「人の命を預かる責任のある仕事だと思った」「私も夢を叶え、人に夢を与えたい」等の感想や、案内して下さった職員の方への感謝の言葉も多くありました。

子どもたちは、皆様のおかげで特別な経験をすることが出来ました。

子どもたちにも、いつの日か自分の仕事で夢を与えることの出来る人になってほしいと思います。

## 学校見学

今年卒園を控えている高校3年生を対象に、プノンペンにある大学や専門学校へ見学に行きました。定期的に行っている高校3年生の進路MTGの中で子どもたちから希望のあがった、国立健康科学大学、王立芸術大学など計7つの学校を回りました。

事前に準備しておいた質問を先生に答えていただいたり、先生たちから授業のカリキュラムや奨学金等について、見学をしたからこそ知ることが出来た情報がたくさんありました。

将来は旅行会社で働きたいと志望している、カエウ・ニエン（17歳・男）は、観光学科がある王立プノンペン大学と経営大学を見学し、「経営大学の観光学科に行きたい」と決めました。実際に自分の目で校舎を見て、先生の話聞いたことで自分通うイメージ出来たのではないかと思います。

卒園まで半年を切っている6名が高校卒業試験に合格し、希望する進路先の進み、夢を掴むためのスタート地点に立ってほしいと思います。



空港の消防車に乗せていただきました



大学の先生に質問、疑問を解消



国立健康科学大学 模型に興味津々